

表1 受精卵から切断採取した細胞由来 DNA を用いた遺伝子型解析の精度

試験区	試験条件		遺伝子型 判定率(%) ²⁾	解析精度
	受精卵から切断 採取した細胞数	DNAの増幅 ¹⁾		
A	約15細胞	無	90.5±8.7 ^b	△
B	約15細胞	有	98.1±0.3 ^a	○
C	約5細胞	有	91.5±2.4 ^b	△

¹⁾ illustra Single Cell Genomiphi DNA Amplification kit (GE ヘルスケア) により増幅

²⁾ 遺伝子型解析において型判定結果が得られた割合、数値が高いほど解析の精度も高い
各試験区に供試した受精卵:5個 異文字間に有意差あり (P<0.05)

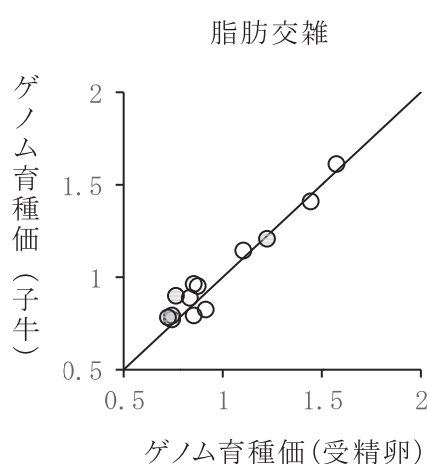


図1 受精卵と子牛の脂肪交雑のゲノム育種価の比較 (n=13)

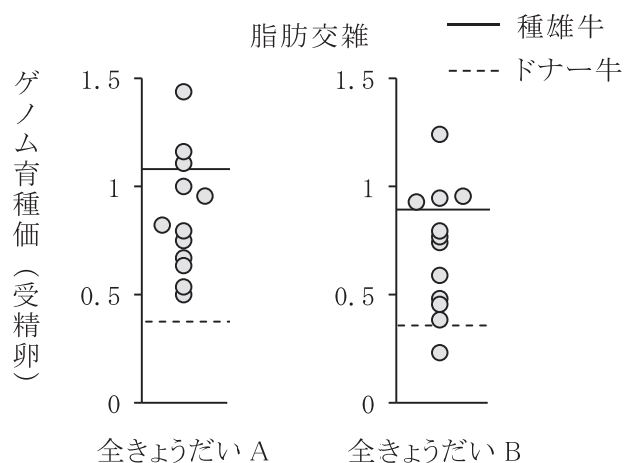


図2 全きょうだい受精卵における脂肪交雑のゲノム育種価のばらつき (n=12)



図3 受精卵ゲノム選抜技術を活用した黒毛和種種雄牛造成および繁殖雌牛改良法

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研畜産試験場 基盤研究部 生物工学グループ 藤井 貴志
電話 (0156) 64-0617 FAX (0156) 64-3484
E-mail fujii-takashi@hro.or.jp